

# たっしやかいね



## 基本理念

「心の通う医療サービスの提供」

地域の中核病院として、行政機関、医療機関、介護施設と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の生命と健康を守るため、多様化する医療需要に対応できる医療環境の整備を図り、医療を受ける人の立場での診療や看護につとめることを基本とする。

## 目次

- ・基本理念・・・1頁
- ・新任医師紹介  
「咽頭がん」について  
感染管理室の取組み・・・2頁
- ・院内外活動☆ニュース  
病児・病後児保育事業・・・3頁
- ・出前講座・院内サークル活動  
・・・4頁

## 新任医師紹介

7月から当院に新しく赴任した医師を紹介します。



内科医長：武田 仁裕（たけだ よしみち）

趣味：音楽鑑賞、読書、スキー

一言：7月より輪島病院に赴任しました内科の武田です。糖尿病や高血圧、甲状腺を専門としています。皆さまの健康のお役にたてるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

## 耳鼻咽喉科から

「咽頭がん」について 耳鼻咽喉科 田中 佐一良 医師

平成29年7月  
耳鼻咽喉科内視鏡システム更新

のどにできるがんは、咽頭（いんとう）がんと喉頭（こうとう）がんに分けられます。近年、喉頭がんの患者数は横ばいですが、咽頭がんの患者数は増加傾向がみられます。咽頭がんは発生部位によって、さらに上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がんに分けられます。

咽頭がんの診断には内視鏡検査が有用ですが、耳鼻科では座位のまま内視鏡を鼻腔経由で挿入して検査行いますので、外来にて容易に検査できます。当院では電子内視鏡を更新しました。電子内視鏡では従来使用してきた内視鏡よりも画像の解像度が高くなり、小さな病変も見つけやすくなります。

咽頭がんの治療は、放射線治療と抗がん剤治療の併用が主体ですが、非常に早期のがんでは、口内経由で内視鏡などを使用して腫瘍を切除することもあります。進行がんでは、声帯も含めて大きくのどを切除摘出することもあります。発声はできなくなります。

咽頭がん発症の予防としては、禁煙、適度な飲酒、口腔内の清潔が重要です。

当院耳鼻科では平日毎日午前午後とも外来診療を行っておりますので、長引くのどの痛みやのどの違和感、くびのしこりなどがみられた時は受診して下さい。



従来に比べ、効率的で安全、確実な内視鏡検査が可能となりました。

## 感染管理室から

平成29年4月1日から、当院は、感染防止対策加算1を取得し、感染防止への取組みを強化しております。今後とも、各関係医療機関などの皆さまからご協力いただき、連携して感染防止対策に取り組んでいきたいと思ひます。



感染管理認定看護師 横地 仁美

### 認定看護師を目指した理由

私が、病棟勤務していた10年以上前は、介護施設などから入院されている患者さんがなんらかの感染症に罹った場合、病気が安定しても耐性菌保菌者であることを理由に施設へ戻ることが難しいと判断され、そのまま病院で最期を迎えるということがありました。ある感染症に罹った患者さんは、入院生活が長引くと「施設にかえりたい。」と訴え、施設に戻ることができない理由がわからないまま戸惑っていらっしゃいました。これは、当時、感染防止対策についての、正しい知識が患者様だけでなく社会一般的に周知・認識がなされていないという事実があったと思ひます。このような経験から、感染管理に関する認定看護師という資格を取得し、患者様、ご家族、地域の方に、感染防止への正しい対処方法や情報提供に努めることにより地域に貢献していきたいと思ひました。

**仕事内容：**ICT（infection control team 感染制御チーム）メンバーと共に感染対策の相談や院内における職員研修を行っています。感染症発生時には現状を確認し早期の終息を支援します。

**仕事のやりがい：**患者さんや職員が感染症に「かからない」「もらわない」「うつさない」の防止ができるよう感染防止対策を推進していくことです。



## 院内外活動★ニュース

新人看護職員研修 (4月6日)



平成29年度は、  
3名の新人看護師が新たな仲間として加わりました。

就職情報交換会 (5月27日)



30名弱の方が当院のブースを訪れ、当院に興味を持っていただきました。  
(石川県地場産業振興センター)

ふれあい看護 (5月12日)



市内の8名の高校生が1日看護体験をしました。  
今回の体験を通して、さらに医療に興味を持ち、  
将来の職業選択に役立てていただければと思います。

わじまケアネット施設部会 (7月13日)



当院の院長、副院長をはじめ病院職員と、市内の介護施設の職員、市の地域包括支援センター職員などの情報交換の場として、わじまケアネット施設部会が当院で行われました。

## 病児・病後児保育事業



病児保育室(H28年度整備)

子どもが病気になったり、回復が長引いたときなど、保護者が仕事やその他で看病できず、また、病気がしっかり回復するまで保育所へも預けることができずに困ることがあります。

このようなときに、当院では、市内にお住まいのお子さんを一時的に預かる「病児・病後児保育事業」を実施しております。

お問い合わせ先

事務部庶務係 電話 0768-22-2222

## 出前講座開催のご案内



当院では、「地域に開かれた病院づくり」の一環として「出前講座」を開催しています。お住まいの地域にお伺いし、皆さまとの交流を図るとともに、健康づくりのお手伝いをさせていただきます。

### 『出前講座メニュー』

- 1 生活習慣病の予防について
  - 2 肝臓病の予防について
  - 3 人口透析の原因疾患について
  - 4 脳卒中の原因と予防
  - 5 人生の最期、どのように迎えますか
  - 6 心臓病の予防について
  - 7 「がん」と言われたら・・・
  - 8 上手に付き合う更年期障害
  - 9 婦人科疾患について
  - 10 病院の上手なかかり方
  - 11 禁煙について
  - 12 高齢者に多い膝・腰の病気と対策
  - 13 おしっこの話
  - 14 耳と鼻の病気について（めまい等）
  - 15 高齢者に多い誤嚥の予防
  - 16 子供の病気と対応
  - 17 糖尿病の療養指導について
- など、全30種類のメニューがあります。

7月11日（火）門前黒島公民館にて、当院の産婦人科青山航也医師が講師となり、「病院の上手なかかり方」をテーマに出前講座を開催しました。講座に参加された約30名の地域の方は、青山医師のお話しにうなずいたりしながら熱心に聞いていらっしゃいました。



お問い合わせ先 地域医療連携室 電話23-0667

## 院内サークル活動

院内の医師、看護師などの有志で石川県内のマラソン大会に出場しています。昨年度から今年度はじめにかけて県内の3大会（金沢マラソン・能登和倉万葉の里マラソン・加賀温泉郷マラソン）を走破しました!! 今年度は、15人の精鋭でランニングサークル「真我履(しんがり)」を結成し、日々トレーニングにも励んでいます。



加賀温泉郷マラソン（4月16日）



金沢マラソン（平成28年10月23日）

### 編集後記

たっしゃかいね第13巻第1号をお届けいたします。

2017年もあっという間に半分以上が過ぎ、時の流れの早さを感じます。広報誌の原稿もそうですが、さまざまな切りに追われているうちに日々が過ぎていくという感覚は、皆さまも経験されているのではないのでしょうか？こんなときこそ、少し立ち止まり日々の業務を見直す時間が必要だなと感じております。輪島大祭が終わると、秋はすぐそこ・・・。体調管理に気をつけて、2017年後半も、輪島病院の様子を発信できるよう微力ながら頑張ります!!

編集：市立輪島病院 広報厚生委員会 広報誌担当

Municipal Wajima hospital

市立輪島病院

〒928-8585 石川県輪島市山岸は1番1地  
TEL 0768-22-2222 FAX 0768-23-0634  
e-mail byouin@city.wajima.lg.jp